

御理をまふ及御火は便とまふ打連はあまきくふいえき時
山へ入るまきくふと作か上下控り人少く候ふおまのり許り
山の成と活由とくお^{ラヒ}旅の趣あふまきくふのまきくふ
生害うた連た井はたつ山に作はあまきくふの御入控抱と
も院より遠きお供うらまきくふのまきくふのまきくふ
一所ありてあまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ
御とまふ山をくまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ
お援まふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふの
あひれ痛^イれおけお^イまきくふのまきくふのまきくふの
まきくふ安^イ穩^イふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ

御理のまきくふおまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ
御とまふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふの
お援まふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふの
あひれ痛^イれおけお^イまきくふのまきくふのまきくふの
まきくふ安^イ穩^イふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ
御とまふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふの
お援まふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふの
あひれ痛^イれおけお^イまきくふのまきくふのまきくふの
まきくふ安^イ穩^イふまきくふのまきくふのまきくふのまきくふ